

本場のジンギスカンを提供

山田で「おいしい」住民笑顔
北海道祭



焼きたてのジンギスカンを振る舞う札幌市私立保育所連合会青年会議のメンバー＝山田町

北海道ジンギスカン連合会青年会議主催
祭（札幌市私立保育所）は4日、山田町八幡町

の町保健センター前で開かれた。

同会議のメンバーら16人がジンギスカンやジャガバターなどを振る舞い、町民らが出来たての北海道の味覚を堪能した。

同町大沢の仮設住宅で暮らす佐々木良子さん(56)は「ジンギスカンは普段あまり食べないけど、やっぱり本場は違う。甘くてやわらかくておいしい」と舌鼓を打った。

イベントは同町の豊間根保育園に同連合会が6月から1カ月間、保育士を派遣していたのがきっかけ。同連合会青年会議の坪谷雄介会長は「北海道の味で、山田の人に少しでも笑顔になってほしかった。みんな喜んでくれた」とうれしそうだった。